



# つつじが丘

加茂市立七谷小学校  
学校より

令和3年2月15日  
No. 466号

<http://www.ginzado.ne.jp/~7tnj-k/>  
e-mail [k-7tnj@educet.plala.or.jp](mailto:k-7tnj@educet.plala.or.jp)

教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ  
重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

## 「あいがとつ」があふれる学校に

七谷小学校では、「3つの『あ』」を推奨しています。

**あいさつ・返事**：返事は、相手から名前を呼ばれたときに返す言葉、あいさつは、自分から相手に働き掛ける言葉

**ありがとう**：人から何かしてもらったときに、お礼の気持ちを伝える言葉

**あとしまつ**：周りに人がいなくても、自分のことは自分できちんとできる、責任をもつ姿

それぞれ、人との関わりを大切にする習慣として大切にしています。「あいさつ・返事」「ありがとう」「あとしまつ」は、当たり前に行える子になってほしいと願っています。

七谷小学校では、「七谷っ子のやる木」が多目的教室の廊下掲示板に掲示されています。子どもたちは、毎月の振り返りで、「自分の頑張ったこと」「友だちの頑張ったこと」を記述しています。そこから「友だちの頑張ったこと」を取り上げ、葉っぱに記録して掲示しているものです。



全校朝会では、この「七谷っ子のやる木」から話をしました。

葉っぱには、

「〇〇さんが、同じ仕事を選んだときにゆずってあげていました。」

「〇〇さんが、△△さんの忘れた縄跳びを持ってきてくれました。」

「〇〇さんが、黒板をきれいにしていました。」

友だちが頑張ったことが、名前入りで掲示されています。それをいくつか紹介しました。

「これまで、1回でも自分の名前が掲示されている葉っぱを見つけたことがある人？」

たくさん手がピンと挙がりました。見つけたときの気持ちを尋ねてみると、「うれしかった。」という声がたくさん聞かれました。頑張っていることを認めてもらったということもあります。また、そこには、感謝の気持ちも込められています。文末を変えると、子どもはすぐに気付きました。

「ゆずってくれて、・・・。」

「持ってきてくれて、・・・。」

「きれいにしてくれて、・・・。」

そこには「ありがとう」という言葉が浮かんできます。感謝の言葉を受け取って、「うれしかった。」とも言えるのです。

友だちの頑張っていることをたくさん紹介してくれた子どもたち。自分が振り返りで書いたものが、掲示されたことがあるか尋ねました。すると、挙げた手は2本でした。意外にも、忘れていた子が多かったようです。きっと、その時々思いついたことを書いているのでしょう。日常的に、してもらったことはたくさんあると思います。

そんな子どもたちに、「ありがとうゲーム」を提案しました。ルールは1つ。

「1日4回、ありがとうをいってもらう」

です。友だちでも、先生でも、お家の人からでもいいです。少しレベルが高いかもしれませんが。友達のいいところや頑張っているところを見つけたり、してもらったことを素直に表現できる子どもたちですから、できると思うのです。そのためには、まず、自分から「ありがとう」が言えること、そして、笑顔でいることが大切です。ぜひ、お家でも意識して声を掛けていただけたらと思います。(その後の様子は、HPのブログで紹介します。)

## レインボータイムの学習から

今年度から、七谷小学校のグランドデザインに七谷小学校7つのTRYを掲げています。その一つが「ふるさと七谷のよさを受け継ぎ、地域を愛する心を育てます」です。これは、「七谷の伝統と豊かな自然を生かした教育活動の展開」「保護者や地域との連携」「保育園・中学校との連携」を柱に進めています。

4・5・6年生のレインボー学習発表会が行われました。柱の一つである「七谷の伝統と豊かな自然を生かした教育活動の展開」の成果として、子どもたちが1年間学習してきたことをご観いただきました。

4年生は、「水」をテーマとした環境学習に取り組みました。七谷地区を流れる川の水質と葵橋付近を流れる川の水質を、水生生物の比較から調査しました。そして、川の汚れの原因を調べ、その解決に自分たちでできることを考え、実行しました。今、学校の中で、来年放流する鮭の稚魚を飼育しているところです。

5年生は、「米づくり」を通して米づくりの歴史や七谷で作るお米のよさを学びました。「多くの人に七谷米のおいしさを知ってほしい。」と加茂駅前、新潟ふるさと村でお米販売に取り組むとともに、転校していった友だちにプレゼントしました。お礼のメッセージをいただき、多くの人と心温まる交流ができました。

6年生は、「七谷の歴史と伝統を引き継ぐ」をテーマに学習に取り組みました。その一つに「七谷甚句」「加茂松坂」の笛・太鼓による演奏があります。今年はコロナ渦の中、指導を受ける機会がほとんどなかったにもかかわらず、子どもたちは立派に演奏を披露しました。また、未来への提言として「理想とする町づくり」を考え、改善策を発表しました。

今回の発表にあたり、新潟経営大学の先生が参観されました。地域連携・地域密着が専門の先生です。子どもたちの発表をご観になり、学習した内容、発表の仕方など多くの刺激を受けたことを聞かせていただきました。そして、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。それだけ、中身の濃い、素晴らしい発表でした。

1・2・3年生は、つつじが丘を活用した学習活動に取り組み、その成果を2学期末にご観いただきました。7つのTRYの評価は、毎学期、「ふるさと七谷のよさ」について記述します。子どもたちは、たくさんのことを書きます。これは、学習を通して七谷のことを学び、よさを知り、七谷への愛着を育んだ姿と言えます。

これらの学習を進めるにあたり、多くの地域・保護者の方からお力添えをいただきました。お陰様で、子どもたちは知見を広め、学習を深めることができました。ありがとうございました。



## 子どもたちの活躍

第63回加茂市総合体育大会 スキー大会

回 転の部	第3位	4年
大回転の部	第3位	2年
	第4位	3年
	第5位	3年
	第3位	4年

おめでとう!



## 行ってきました!スキー授業 in 三川



昨年は小雪により、実施できなかったスキー授業。今年は、しっかりと雪が降り、ゲレンデも真っ白に雪化粧。日頃の行いがよいのでしょうか。スキー授業は晴れる日が多く、子どもたちは大喜びです。スキー授業の最後は、三川スキー場でのスキー授業です。三川スキー場でも、真っ青な青空のもと、思い切りスキーを楽しみました。

当日は、多くのボランティアの方々から参加していただきました。お陰様で、その子の技術に応じた小集団グループ指導を行うことができました。一人一人しっかり教えていただけるので、子どもたちも覚えが早く、全員がリフトに乗ることができました。

「楽しかった!」

帰校した子どもたちから、喜びの声が聞かれました。これも、多くの方々からご支援いただいたおかげです。ありがとうございました。

スキー授業に負けずに晴れたのが、1・2年生のそり遊びです。冬鳥越スキー場では、快晴が続きました。

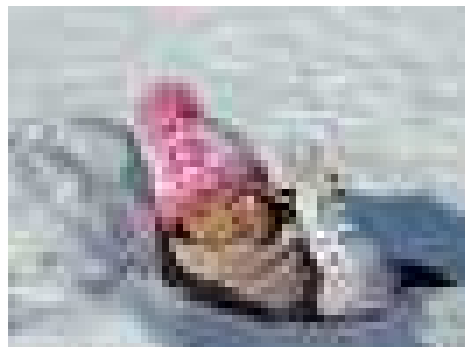
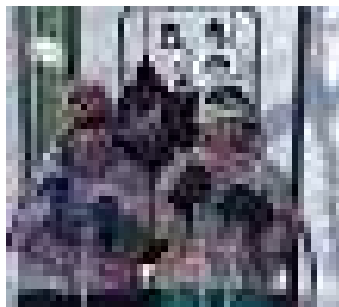
そりに乗って、長靴でブレーキをかけると、雪が顔いっぱいにかかります。

「先生、ぬれました!」

となぜか嬉しそうに話す子どもたち。晴れた空のもとだからこその笑顔かもしれません。本当に楽しそうでした。

疲れてくると、ふもとにある雪山をほってかまくらづくりです。せまいところが好きなのか、一生懸命に掘った穴に潜り込んで楽しんでいました。

3学期の行事が順調に進んでいます。行事を通して子どもの成長する姿がうれしいです。



## 縄跳び大会を開催しました!

体育の授業で短縄跳びの、チャレンジタイムで大縄跳びの練習を重ねてきました。縄跳びは達成型のスポーツです。練習した成果が表れやすく、子どもたちは熱心に練習に取り組んでいました。回数の記録が伸びたり、新しい技ができたりすると、

「先生、見て見て!」

と声を掛けてくれます。そして、目の前で一生懸命チャレンジしている技、できるようになった技を見せてくれます。

大縄跳びは、みどりの仲間の班2チーム合同で、計3班で競い合います。月曜日と金曜日の20分休みの5分間を練習時間に充て、チャレンジタイムとしました。練習終了後は、6年生を中心に振り返りを行います。この時間が大切で、今回の反省を次回のチャレンジへとつなげていきます。縄跳びもスポーツですから、得意・不得意があります。そこを工夫し、どうチーム力を高めていくか。得意な子が苦手な子の後について、縄に入るタイミングを教えたり、連続で縄に入れる子を数人の塊として、その時は縄を回す速さを上げたりと様々な工夫が見られ、回を重ねるごとにアップグレードされていきました。よって、大会では1位を取ることも目標にありますが、これまでの最高記録を出すこと、ここに目標を置いています。感心なのは、失敗しても中々縄の中には入れなくても、マイナスな言葉が聞かれることなく、練習や本番を過ごしていたことです。どの子にとっても、最高のパフォーマンスが発揮できるような声掛けができていました。

そして大会当日は、どの班も見事、自己新記録を出すことができました。とても素晴らしいことです。結果の背景にある、チーム力、仲のよさを改めて強く感じた瞬間でした。



## 1人1台のパソコン授業が始まりました!

国が推進するGIGAスクール構想をもとに、加茂市でも予算化を図り、全小中学生に1人1台のパソコンが支給されました。これは、小学校を卒業するまで使います。七谷小学校では、パソコンに名前シールを貼りました。卒業後は名前を書き換え、新1年生に受け継がれていきます。

このパソコンを使うことによって、写真や動画を撮ったり、情報を検索したり、自分の考えを他の友だちと画面上で共有できたりと様々なことが可能になっていきます。現在のところ、学校の中で、教師の指導の下で使うことにしています。

教師の指導の下と言っても、私たち教師側にとっても初めての経験です。分からないこと、できないことがたくさんあります。「習うより慣れろ、悩むより使え」をキャッチフレーズに、様々チャレンジしているところです。教務室では、新しい情報が出てくると、

「それ、どうするの?」

と声を掛け合い、学び合っているところです。七谷小学校の重点目標である「ともに高め合う七谷っ子」は、職員にも言えることです。

初めて自分用のパソコンを手にした子どもたちからは、歓声が上がりました。これから授業のあり方が大きく変わっていきそうです。

